

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	風越公園整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	建設部	課等名	都市整備課	内線	2730	1	8	4	5	12	3
政策体系上の位置付け	政策	地域の魅力と快適さを高めるまちづくり			関連計画、条例等	都市公園法・河川法・都市公園条例					
	施策	快適に暮らす社会基盤の整備									
	基本事業										
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	12年度～	25年度	環境調整会議の必要性	なし							

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	・市民 ・公園区域	市民(人)	当初(15)	17年度	107000	
			16年度	107000		
		公園面積(ha)	当初(15)	17年度	14	
			16年度	14		
	意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
・公園利用者への休養・便益施設の提供。	マレットゴルフ場利用者数(人)	当初実績(15)	最終目標			
		16目標	16実績	9964		
		17目標	12000			
	キャンプ場利用者数(人)	当初実績(15)	最終目標			
		16目標	500	16実績	388	
		17目標	800			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	本公園はS48年風致公園として計画決定され、平成8年度に全体エリアの基本計画を策定、平成12年度マレットゴルフ場のトイレ整備、平成13、14年度はマレットゴルフ場の排水、路面整備、林間整備、平成15年度キャンプ場トイレの整備を行った。平成17年度までにキャンプ場施設の整備計画を作成をし、平成18年度以降に松川の清流を生かした自然公園として、キャンプ場施設及び周辺の整備をおこなう。	・都市公園の整備 (キャンプ場四阿の実施計画作成)	整備された施設数(箇所)	0
	16年度の実績			
	17年度計画	・都市公園の整備 (キャンプ場施設と周辺整備の計画検討)		

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額	
事業費	特定国庫支出金				特定財源内訳
	特定県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源		0	0	
事業費計(A)		0	0	0	
人件費	正規職員所要時間	100	100	500	
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)	352	352	1,760	
	トータルコスト A+B	352	352	1,760	

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・憩いと安らぎ、交流の場の提供。	公園利用者の満足度(%)	16目標	16実績		
			17目標			
		キャンプ場利用者の満足度(%)	16目標	16実績		
			17目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・公園内施設の老朽化や利用形態の変化により公園利用者が減少している。 ・マレットゴルフ場は利用者が多いが、キャンプ等他の利用者との交錯がおきている。 ・強い市民要望有る。	・妙琴センターがH15に取り壊され、跡地利用が問題となっている。 ・マレットゴルフ場は新しいコース整備により他の利用者との交錯は解消された。 ・無料利用のキャンプ場への利用希望が増加している。	・地元から早期整備の要望が有る。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由) 現在の利用希望者の実態から、見直しの必要はない。	有効性評価 廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由) 市内にキャンプのできる公園が少ない為、市民が自然とふれあう機会が減少する。
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由) マレットゴルフ場・キャンプ場の利用者が多く、憩いと安らぎの場である。		(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由) 誰でも自由に無料で利用できる事が基本であり、設置管理者としての義務がある。	効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 不可能 (その理由) 必要最低限の施設である。
		公平性評価 受益者は誰か? 負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由) 公園施設は市民が、だれでも自由に利用できる必要がある。 今後整備される施設については、有料化も検討する。	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか)の改革改善案	改革改善案実施の課題と克服方法
今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	・平成17年度中にキャンプ場施設の整備計画を作成する。 ・都市公園整備事業と統合する。 ・整備事業完了後にPRをし、キャンプ場利用の促進を図る。	